

北九州市立医療センター

研修医 近藤 萌 2017 年 7 月

北九州市立医療センター研修医 2 年目の近藤萌と申します。私は 2017 年 7 月の 1 か月間、地域医療研修として、出水市で研修させて頂きました。

鹿児島の地に来た日は慣れない環境にとっても緊張しましたが、のどかな風景とあたたかな人柄に囲まれて、とても充実した 1 か月を過ごすことが出来ました。

最初の 2 週間は野田診療所、高尾野診療所、後半の 2 週間は出水総合医療センターで研修を行いました。

診療所では、診察時間も医療資源も限られていましたが、そのような状況の中でも問診・身体診察を行い、可能な治療・処置、必要に応じて他の医療機関への連絡を取るといった柔軟な診療を行うことの難しさを感じました。また、一人ひとりの生活環境や家庭状況を把握し、今後より良く生活が出来るような環境を整備する必要性もあることを知りました。

出水総合医療センターでは、外科をはじめ、薬剤科、臨床工学科、看護部、医療安全管理室、感染管理室、地域医療連携室、リハビリテーション技術科、臨床検査科といった多職種の方々との交流を通して、医療センターの出水市における役割を感じる事が出来ました。

出水保健センターの研修では、地域の中で保健業務が果たす役割を見ることができました。そして、保健センターに来られた方が、笑顔で帰られて行くのがとても印象的でした。

地域医療研修を通して、限られた医療資源の中での診療、様々な健康問題を抱えた患者さんを横断的に診ることの重要性および難しさを、実際に患者さんと接する中で学びました。そのためにも、患者さんが私たち医療従事者に変化や意見を言いやすいような状況、そして対応するための知識の蓄積が必要だと痛感しました。また、チーム医療の重要性を強く感じるとともに、今後も積極的なコミュニケーションを心がけようと思います。

この 1 か月間では普段目にすることのない、地域医療の現場を経験することができ、本当に多くのことを学びました。

お忙しい中、ご指導くださいました先生方はじめ、関係者の方々、そして診察させていただいた患者さんに深く感謝申し上げます。ここで学んだことを活かして、今後も精進していきたいと思えます。1 か月間、本当にありがとうございました。